

～地域みんなで子どもの未来を応援するために～

広がれ、

こども食堂の輪！

活動ガイドブック

続けるための

支える・つながりづくり編

はじめに



山崎美貴子

東京ボランティア・市民活動センター所長

「広がれ、こども食堂の輪！」推進委員会委員長

この冊子はシリーズ3冊目です。1冊目2冊目で多様なこども食堂を紹介してきましたが、今回はこれまで取り上げてこなかった地域、例えば子どもの貧困が29.9%と発表された沖縄県や、東北をはじめ各地で震災復興が続いていますがその中の1つとして宮城県の活動などをご紹介します。地域の抱えている課題はそれぞれですが、一緒に食卓を囲むことで生まれる空間が醸し出すものは同じで、どこも新しいつながりをつくったり、支えあったりしていることがわかります。

最後にあります西野博之さんからのメッセージには、「ながら相談」の話が出てきます。相談室で「どんなことに困っているの？さあ、話してごらん」と言われてもなかなか話せない。横に並んで野菜を切ったり、一緒に食事をしたりしていると「あのね、昨日ね」と子どもたちが話し始めると言うのです。「美味しかったね、楽しかったね」と言い合える言葉の中に、子どもたちが安心感を覚えて話したくなるような雰囲気ができるからだと思います。こども食堂は、さまざまな思いを持ち込んできた子どもたちが主人公にな

るために、大人たちがお手伝いをしている場だと思います。子どもにとって、温かい食べ物が食べられる場であるだけでなく、安心して居られる居場所になったり、学習ができたたり年齢の違う人と遊ぶ場所になったりと、とても大切な場になっています。

この大切な場が継続していくにはどうしたらいいのでしょうか。今回の冊子では「続けるための 支える・つながりづくり編」として模索をしています。こども食堂は、活動する主体が頑張るだけではなく、活動を支えるさまざまな組織があつてこそ成り立ちます。そのさまざまな支える側の中から、今回はJAや民間企業をご紹介します。JAは地域により多様な形で支援をされています。企業は、全国的に広く、あるいは地元企業の場合も生活圏となる地域より広いエリアを対象に支援をしている特徴がみられます。こども食堂の中には、企業や自治体、その他の関連機関とネットワークをつくりながら、地域の子どもたちの未来を考えていく仕組みを、すでにつくり始めているところもあります。これは日本の新しい文化の創造であると思います。

私たちの歩みは決して大きなものではありません。しかし、みんなで繋がりあうことにより、次の時代の子どもたちの命と生活を守っていける、新しい文化を創造する1つの試みをご提示できているのではないかと思います。

さまざまな支えがあれば、これからもこども食堂の取り組みは広がっていくことができると思います。みなさまの温かいご支援をお願い申し上げて、「はじめに」の言葉に代えさせていただきます。



CONTENTS

目次



はじめに 2

巻頭特集

沖縄の居場所・食支援 6

あおぞら広場 ~宮城児童館~ 8

子ども元気ROOM ~カナカナ~ 10

ていーだこども食堂 12

子どもの広場in那覇 14

住吉国際ジュニア倶楽部 16

沖縄ノート 18



全国に広がった! こども食堂の輪! 22

東北地方 やっぺす! ママこども食堂 24

中高生が提供するOneコインカフェ
Caffè neppape 26

北海道地方 西野こども食堂kaokao 28

あさぶ商店街 麻生キッチンりあん
子ども食堂りあん 30

こども食堂ぽんぽこ 31

東海地方 あじまわいわい食堂 32

つなぐ子ども食堂 34

九州地方 みやこや 36



こども食堂を 支援する取り組み 38

JAの支援 39

企業の支援 42

ネットワークの必要性 48



これまでと
これから 54

メッセージ 58

認定NPO法人スペースたまりば代表
西野博之さん

「28年間、毎日お昼ご飯を
一緒につくって
一緒に食べてきた」

おわりに 62



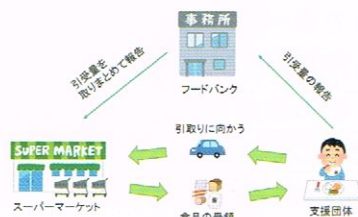
こども食堂を 応援している企業

こども食堂の取り組みを、
さまざまな形で応援している
企業が増えています。
ここでは、その一部をご紹介します。
今後このような企業の応援が、
ますます増えていくことを
願っています。

株式会社 ハローズ

中部四国地方で展開しているスーパーマーケットハローズでは、ラベルの汚れなどで廃棄せざるを得ない商品に対して、従業員より「もったいない」の声があがっていました。そこで、2015年よりフードバンクへ食品提供を始め廃棄率も下がりましたが、提供量の増加に伴いフードバンクの負担が大きくなっていました。

そこで、2017年12月より、近隣の店舗から支援団体へ直接提供する仕組み「ハローズモデル」へと運用を切り替えました。この取り組みは、「第6回食品産業もったいない大賞『農林水産省食料産業局長賞』」を受賞しました。



ハローズモデル

https://www.halows.com/files/uploads/news/1545529482_pdf_346.pdf

この冊子は、赤い羽根福祉基金の

社会を良くするたしかな一歩



赤い羽根
福祉基金

助成により作成しています。



繋げるための

支える・つながりづくり編

活動ガイドブック

発行

「広がれ、こども食堂の輪!」
全国ツアー実行委員会 テキストプロジェクト

一般社団法人 全国食支援活動協力会内
〒158-0098 東京都世田谷区上用賀6-19-21
<http://www.mow.jp>

この冊子はプライバシー保護に配慮して作成しております。
本誌掲載記事・写真等の無断転載を禁じます。

2019年3月